

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		市民センター費 [市民センター事務]										
予算科目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	13	市民センター費	事業番号	1	
事業の種別		☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) ☒ 課内庶務等 ☐ 休止したもの ☐ 廃止したもの										
担当部署・課長名		地域振興 課 市民センター				係		課長名		石川 正憲		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号		5 - 3		
【施策名】 共に支えあう地域社会の確立								総合計画書(ページ)		110		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 各施設の職員					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 各施設の職員数(奈良橋市民センター4人、上北台市民センター2人、南街市民センター1人、桜が丘市民センター2人、向原市民センター3人、新堀地区会館3人、南街老人福祉館3人、各集会所5施設×4人) →						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 円滑に事務が遂行できている					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) ①職員からの要望・苦情件数 約2,400件 ②施設修繕件数 64件 →						
	③ そのために何をしましたか。 市民センター5施設、集会所5施設、新堀地区会館、南街老人福祉館からの問い合わせ等に対応、各館の委託等の契約、行政財産使用許可の申請等を行った。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 管理事務に必要な費用(旅費、消耗品、役務費等)の総額 →						
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標				
	対象指標	①の数値	人	28	28	28						
	成果指標	②の数値	件			①2,400 ②64						
	目 標	②の目標値		目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。)								
	活動指標	③の数値	円	17,811	93,901	12,015						
3 経費	事業費(実績)		円	17,811	93,901	12,015	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)					
	財源	一般財源	円									
		特定財源	円									
		(うち受益者負担)	円									
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人									
		所要人数(再任用)	人									
		職員人件費(再任用以外)	円									
	職員人件費(再任用)	円										
事業費+人件費		円	17,811	93,901	12,015							
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く 各施設の老朽化が進み、風呂の給湯機器の不具合、空調機器の故障の頻度が増えてきているので機器更新の必要がある。 公共施設等総合管理計画に基づく市民センターの施設の長寿命化及び修繕計画を策定する必要があるが、事務職では必要な知識が無いため、技術職の配属を要望し続けている。 金額が50万を超える施設修繕や工事等になると起工する必要があるが、更に100万を超えると検査室による検査が必要になる。懸案事項になっている修繕を考えると今後は技術職の配属が無いと厳しい状況にある。											
	5 今後の方向性	仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く 修繕や起工は経験を積むことである程度の対処ができるようになるので、施設単位での修繕方法等の履歴を積み重ねていくことで対応したい。										